

第20回 日本死の臨床研究会中国・四国支部大会のご案内

■第20回日本死の臨床研究会中国・四国支部大会を2019年5月26日(日)に徳島県の徳島大学地域連携プラザ(常三島キャンパス)の地域連携大ホール(けやきホール)で開催させていただきます。テーマは「多死社会の生と死_今改めて問われるケアとは?」としました。徳島県は既に人口減少局面に入っており、2040年には人口の約40%が65歳以上となります。

午後の講演は、静岡県立静岡がんセンターの大坂巖先生にお願いしました。シンポジウムは、「地域包括ケアと看取り」として多死社会での看取りをテーマに皆さんとともに学びを深めたいと思っています。どうぞ踊る阿呆の徳島にお越し下さい。お待ちしております。

なお、大坂巖先生は9月30日で静岡県立静岡がんセンターを辞し、10月1日付けにて愛媛県四国中央市のHITO病院に緩和ケア内科医として赴任されます。今後の中国・四国支部会でのご活躍が期待されます。

■世話人会は、2019年5月25日(土)の17:00~18:00に徳島大学地域連携プラザ(常三島キャンパス)の1F音楽講義堂にて開催予定です。世話人の皆様には改めてご案内致します。

■大会長：片山 和久(徳島市民病院 緩和ケア内科)

■大会事務局 / 徳島市民病院 医事経営課 横山/佐藤
〒770-0812 徳島市北常三島町2丁目34番地

TEL 088-622-5121(代), FAX 088-622-9317

e-mail: kanwa@hosp.tokushima.tokushima.jp
